

身近で起きる犯罪からわが身を守る

自動車盗対策

- ① わずかな時間でもエンジンを切り、鍵をかけましょう
- ② 防犯設備のある駐車場を利用しましょう
- ③ 自宅の屋外車庫にはフェンスなどを設置し、センサーライトなどをつけましょう
- ④ 門扉がない場合はチェーン、ワイヤーなどで出入りを遮断しましょう



車上狙いに注意!

貴重品や手荷物を外から見える位置に置かないようにしましょう

自転車盗対策

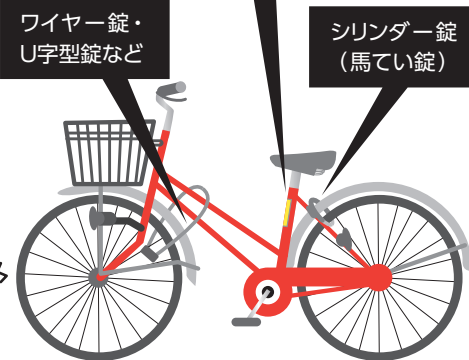
わずかな時間でも鍵をかける習慣を!



自転車の盗難被害のうち、鍵をかけるに盗まれる事例が全体のおよそ半数を占めています。自宅の敷地やマンションの駐輪場でも鍵をかけましょう。

自転車が無断で使用するの窃盗罪!

*長期間捨て置かれたままの自転車やバイクも拾って使うと占有離脱物横領罪です



侵入窃盗対策

防犯対策を考えるうえで侵入窃盗の手口を知ることが大切です!

住宅への侵入手段のうち、鍵のかかっていない戸や窓から侵入する割合が年々増加しています。侵入窃盗の犯罪者が侵入を諦めるまでの時間は約5分。この5分という時間を防犯対策の目安として見直しましょう。

町を守るのは「地域の目」

侵入者が犯行を諦める理由で多いのは「近所の人に声をかけられたり、じろじろ見られた」という「地域の目」です。地域での「あいさつ運動」など、ご近所に目を配り、連帯感を高めて自分たちの町を守りましょう。

家の周囲には足場となるようなものは置かないようにしましょう



特集

防犯の心得

私たちの心がけで防ぐことができる犯罪があります。年末年始に多発することが予想される犯罪を防止し、皆さんの生活の安全を確保するため、市で行っている取り組みと対策を紹介します。



越谷市における犯罪の現状

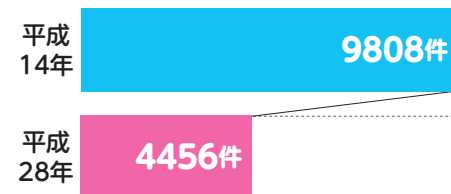
越谷市内の刑法犯認知件数は、平成14年の9808件をピークに平成28年は4456件と半数以下に減少しています。これは、自主防犯組織の皆さんをはじめ、多くの方々が防犯パトロールなどの犯罪被害を防止する活動に取り組んだ結果といえます。

しかし、本市の人口10000人あたりの犯罪件数は13・2件で、埼玉県内の市町村別で見ると3番目に高い状況です。

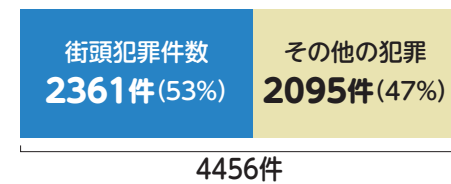
犯罪の種類別で見ると駐車場や道路、公園などで起きる「街頭犯罪」が2361件と全体の53%を占めています。中でも「自転車盗」が1597件と一番多く、街頭犯罪の68%となっています。

昨年の自転車盗被害は、大型

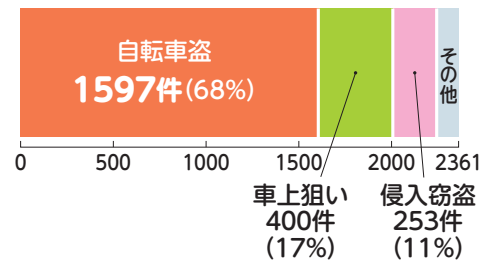
市内の刑法犯認知件数の推移



平成28年 刑法犯認知件数の内訳



街頭犯罪件数の内訳



犯意を高めるとともに、引き続き自主防犯活動団体の皆さんや越谷警察署をはじめとする関係機関等と連携を図りながら、安全で安心なまちづくりを推進していきます。

学生徒に自転車の二重ロックとして利用できる「ワイヤーロック」を配付し「自転車盗」対策に取り組んでいます。

また、自主防犯活動団体に對しLEDライトや反射材付きベスト、帽子などパトロールをするための携行品を貸与するなどの活動に対する積極的な支援や「青色回転灯を装備した車(青パト)」によるパトロールを

行うなど、犯罪が起きにくい環境づくりに努めています。

このほか、警察の取り締まりの強化や市内各地域で活動している200以上の自主防犯活動団体の方々の協力により、平成29年は7月末時点で、前年同期と比べ犯罪認知件数は約12%減少しています。

「自分たちの町は自分たちで守る」という一人ひとりの防



青パトによるパトロールの実施

大袋・増林・大相模・大沢の4地区において、子どもたちの安全確保のため、週1回、埼玉県警察本部に団体登録をした団体によるパトロールを実施しています。

電話だけではなく多様化する詐欺犯罪

『民事訴訟管理センター』からの架空請求はがきは**無視**してください!

最近、越谷市内で、『民事訴訟管理センター』と名乗る機関から「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」のはがきが非常に多く届いています。

過去に利用した業者への未払いがあると思わせ、それに関して「裁判所に訴状が提出されました。取り下げ最終期日までに連絡がない場合は、給与や不動産などを差し押さえます。」と脅して不安にさせ、「取り下げ等のお問い合わせ窓口」に相談するよう誘導する手口です。



えっ! 最近の傾向

「オレオレ」って
言わないの??

最近「オレオレ」とは言わないケースも増えていきます。狙う対象の個人情報や家族の名前を名乗ったり、家族構成を知っていても、油断してはいけません。

このはがきは、裁判所が送ったものではありません。

『民事訴訟管理センター』に連絡をしたところ、弁護士を名乗る者を介され、最終的にはコンビニでプリペイドカードを購入し、お金を支払ってしまったとの被害も発生しています。

このようなはがきが届いても、決して相手に連絡せず、支払わずに無視してください。

不安を感じたり対処に困ったりした場合には、消費生活センターに相談してください。

被害に遭わないよう、十分注意してください。

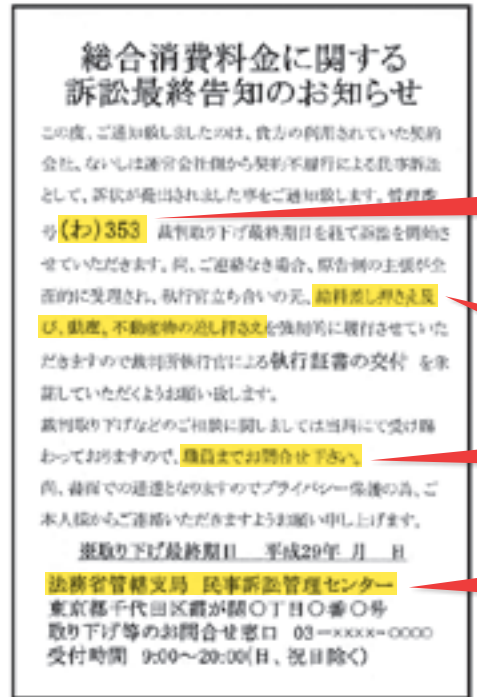
通し番号で本物だと思わせている!

おどし文句「脅迫」です!

電話をかけるための「わな」!

存在しない法人

STOP!!
詐欺被害



高齢者を詐欺被害から守るのは
家族と地域のチカラ!

振り込め詐欺をはじめとする詐欺犯罪の被害者は、60歳以上の高齢者の割合が高く、さらに70代の女性が狙われやすいことが分かっています。

近所で、相談相手のいない高齢者の家に頻繁に出入りしている業者はいませんか? 電話ではなく訪問で強引に契約させられたとして、消費生活センターなどに相談が寄せられる件数も増加しています。高齢者の自宅を訪れた際、知らない間に段ボール箱などの荷物が増えていたり、健康食品ばかり購入している場合は、すでに詐欺の被害に遭っている可能性があります。

高齢者はだまされていることに気付きにくいばかりか、だまされたことに気付いても誰にも相談できずに一人で悩みを抱えてしまいがちです。家族や近所づきあいの中で、日頃から悩みや困っていることを相談しやすい環境を作っておきましょう。怪しい業者がいるという情報を地域で共有するだけで、防ぐことができる犯罪があります。



知らない間に
荷物が増えた



知らない業者が
出入りしている



▲啓発チラシの配布

越谷市は越谷 警察署と連携しています



▲越谷警察署 菅原署長

越谷警察署では、犯罪が増える年末年始に向けて特別警戒を実施しています。銀行やATMなどの金融機関をはじめ、駅前の防犯パトロールを強化し、街頭犯罪の防止に努めていきます。

STOP
振り込め詐欺 ⚠

電話でお金の話が出たら詐欺です。
ATMでお金が戻るとは絶対にありません。
家族からの電話でも、一度切ってかけ直す。

▲電話の近くに貼っておきましょう

🗨️ 家族の合言葉

☎️ かけ直す電話番号

こんな電話は詐欺です!!

自分は大丈夫、と思っている人ほどだまされてしまうのが電話での詐欺。犯人は、考える時間を与えないように焦らせてきます。電話でお金の話が出たら、詐欺だと思って、まずは一度電話を置きましょう。

事例 1

■息子や孫を名乗って…

「会社のお金や小切手の入ったかばんをなくした。バレたら解雇されてしまう」

■警察官を名乗って…

「息子(孫)さんが事故を起こした。相手は示談で良いと言っている」「代理の人を取りに行かせるから、お金を渡して欲しい」

➡ **絶対にお金を渡してはいけません! 詐欺です!**

事例 2

■市役所職員を名乗って…

「医療費の還付がある。手続きのため、携帯電話を持ってATMへ行ってください」「今から出す指示のとおりATMを操作してください」

➡ **ATMでの還付は、絶対にありません! 詐欺です!**

事例 3

■銀行員を名乗って…

「あなたのキャッシュカードが不正に使われている。停止するので今から家に行く」「このカードは手続きのために預かります」

➡ **絶対にカードを渡してはいけません! 詐欺です!**

防災行政無線と越谷cityメールで
振り込め詐欺の被害防止に取り組んでいます

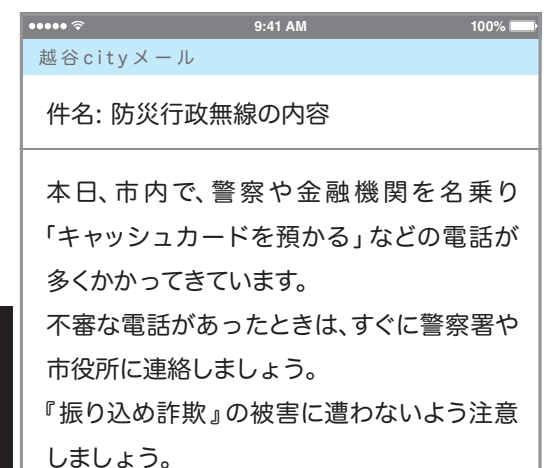
市内で実際に振り込め詐欺が発生した場合や、詐欺と思われる電話が相次いで発生している場合に、警察からの依頼を受け、市民の皆さんに注意を促す必要があると判断されるときに放送・配信を行っています。

越谷cityメールの登録については15ページ参照

防災行政無線の内容および
越谷cityメール本文

振り込め詐欺の予兆電話がかかってきているときや、実害が発生したときなど、状況によって内容が変わります。

この放送が流れたら、
不審な電話に
注意してください。



出張講座



▲くらし安心課の職員が事例を説明

市では、くらし安心課の職員が自治会館などへ出向いて防犯に関する話をする出張講座を行っています。地域の防犯意識を高めるために、ご活用ください。詳しくはくらし安心課へお問い合わせください。

越谷cityメール配信サービスをご利用ください

防災行政無線の情報は、越谷cityメール配信サービスにご登録いただくと、携帯電話（パソコンも可）に配信されます。左記の二次元コードからご登録いただくか、市ホームページから、トップページ↓くらし・市政↓市政・市民参加↓広報・広聴↓お知らせ↓越谷cityメール配信サービスをご覧ください。えご登録ください。

*情報利用料は無料ですが、通信料は自己負担となります



安全な環境づくり (ハード) と安心して暮らせる コミュニティづくり (ソフト) の相乗効果で 「安全・安心なまち」を目指します！

防犯カメラの設置、公園の樹木せんてい、街路灯の設置など防犯を意識した町並み形成（ハード的対策）を図るとともに、地域の防犯意識を高め、住みやすいコミュニティを形成（ソフト的対策）することで、犯罪が起こらない・起こしにくい環境を作ります。

犯罪の機会を与えないことによる防犯対策

自主防犯活動団体「わがまち防犯隊」による防犯対策を推進しています。

市内では自治会やPTA、市内企業などで構成された200を超える団体がパトロールや見守り活動を行い、たくさん



▲南越谷駅前のパトロールの様子

越谷市の取り組み

自己防衛も大切です

犯罪を犯すスキを与えないで！ 防犯グッズを活用しましょう

犯人は見つかること（＝人の目）を嫌います。光や音の出る防犯グッズを活用し、犯人を撃退しましょう。また、侵入までの時間を稼ぐことで、人に見られるかもしれないという心理から犯人が侵入を諦める場合もあります。

センサー付ライト 照明・防犯灯	ガラス破り防止フィルム 錠前破り対策ガードプレート
防犯カメラ テレビドアホン	センサー付サイレン 警報ベル

光目 **時間音**

明るく照らされる
顔や姿を監視される

侵入に時間がかかる
警報音などの大きな音を出す

緊急の場合は
110番

相談・お問い合わせは
越谷警察署

東越谷 6-67-1
☎ 964-0110



振り込め詐欺
についてのお問い合わせはこちら

越谷市立消費生活センター

越ヶ谷 4-1-1 中央市民会館 4 階
☎ 965-8886

自主防犯活動
についてのお問い合わせはこちら

くらし安心課

越ヶ谷 4-1-1 中央市民会館 4 階
☎ 963-9185

子どもや女性を狙う犯罪を未然に防ぐ

ひったくり対策

荷物を犯人の手から遠ざけることが大切

ひったくり被害の約9割が女性です。バイクや自転車に乗った犯人が追い抜きざまにかばんを奪う事例が多く、金融機関から出てきた人を付け狙うこともあります。



- 自転車の場合は、かごカバーをつける（荷物の上に上着や雑誌をのせる）
*ハンドルに荷物の取っ手をかけると転倒の危険があります
- 徒歩の場合は、かばんを車道と反対側に持つ
- 人通りの多い明るい道を歩く

子どもの被害防止

犯人はひとりでいる子を狙います



大切な子どもたちを狙った犯罪が後を絶ちません。市では、越谷cityメールで不審者情報を配信し、情報の周知を行っています。地域では、子どもたちの登下校に合わせて、花の水やりや道路の清掃、買い物などふだんの生活を通じた「ながら見守り」に努めましょう。

子どもの緊急避難場所
「子ども110番の家」

守ろうね！ 5つの約束

1. ひとりにならない
2. 知らない人についていかない
3. 大きな声で助けを呼ぶ（防犯ブザーも有効）
4. 誰とどこで何時まで遊ぶのか家の人に話す
5. 車に近づかない



この看板が目印です

女性の被害防止

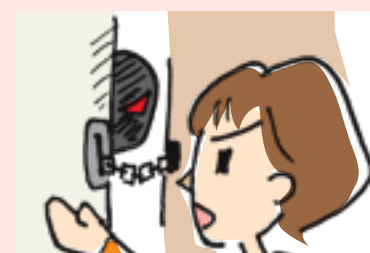
危険から自分の身を守るための
はじめの一歩は、警戒心を持つこと

発生場所の多くは、下校や帰宅途中の路上です。家に入るまで警戒しましょう。

- 暗い道、人通りの少ない道は避けて通る
- 周囲の様子に気を配り「もしかしたら…」という気持ちを常に持つ
- 携帯電話等の操作をしながら、イヤホンで音楽を聴きながらの「ながら歩き」はしない
- 2階以上でも玄関・窓は必ず施錠
- 来訪者に対しては気軽にドアを開けない
- エレベーターや車に乗るときは、周囲に不審な人がいないか確認する
- 友人と一緒にいても知らない人の車に絶対乗らない
- 痴漢には勇気と大声を出す



歩きスマホはやめましょう！



特に一人暮らしの女性は、知らない来訪者にはドアチェーンをかけたまま対応するようにしましょう